

Symposium Report

第3回 COE国際シンポジウム 開催報告

「場の記憶・からだの記憶 非文字資料研究の新地平」

開催日程 2008年2月23日(土)・24日(日)

開催場所 神奈川大学横浜キャンパス16号館 セレストホール

国際シンポジウムは2005年、2006年に続き、今回は3回目ですが、これが本プログラムの最終シンポジウムとなります。第1回は、研究蓄積のある内外の研究者を招き、その研究法や研究成果を披露していただき、私たちが学び、第2回は、本プログラムの研究成果を中間報告しました。それに対して、今回は最終的な研究成果を報告して、内外の研究者に検討していただくという主旨の開催でした。

第1日目 2月23日(土)

9:30~10:00 (受付)  
10:00~10:05 開会挨拶  
10:05~10:20 主催者挨拶

セッション 10:20~11:40

マルチ言語版『日本常民生活絵引』の編纂刊行



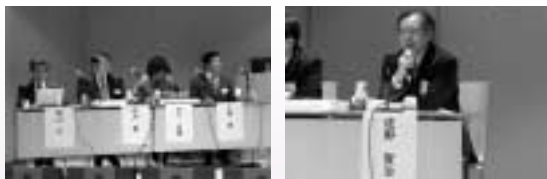
セッション 12:50~15:00

租界、神社の遺跡から過去の実態を読み解く試み



セッション 15:15~17:35

インターネット・エコミュージアムの可能性  
地域研究と情報学の連携



17:35~17:40 閉会挨拶

第2日目 2月24日(日)

9:30~10:00 (受付)

セッション

10:00~12:00

身体技法および感性の資料化と体系化



セッション

13:30~15:10

身体技法を展示する



15:30~16:30 総合討論  
(前半)

16:40~17:40 総合討論  
(後半)

17:40~17:45 閉会挨拶



海外提携研究機関代表者会議

レセプションにて

